

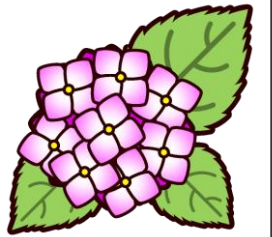
確信と展望をもって心新たに

三人となった県議団で一層力を発揮して県政に臨みます。今年は参議院選挙があります。よしまた洋さん先頭に戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府の実現に向けて頑張っ

2016年正月

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの



びっくりばんと
いえる政府
作ろうよ
(はるみのワクワク川柳)



1月4日 市議団と新春街宣
1月3日 よしまた洋参議院青森選挙区予定候補と新春街宣



12月7日

環境厚生常任委員会

●ニホンジカ対策における狩猟免許保有者を増やす取り組みについて

「年2回だった試験を3回にするなどして取得者を増加させている。」と答弁

●東通原発の新規制基準適合性審査において重要施設直下に活断層判明した場合の判断はどうなるのか

「今の基準では建てられない。」と答弁

●県内医療廃棄物処分場について

「八戸2、十和田1、三沢1、むつ1、青森1。」と答弁

●近場で出産できる環境を確保する問題について

「周産期の集約化は避けて通れない。妊婦健診は身近な所で受けられるよう考慮したい。」と答弁

●へき地医療の確保について

「無医地区が24、

要求実現

1月3日
憲法9条つがる女性の会
「安倍政治は許さない」
スタンディング行動



取上町会長さんと。投票所にもなる取上公民館にスロープ実現



昨年12月12日 演説会

いわぶち友比例代表予定候補・よしまた洋青森選挙区予定候補とともに

「へき地勤務医師支援を行っている。」と答弁

ほつとタイム

福島原発事故調査

12月16日・17日に県議団で福島原発事故の調査に行きました。事故からもうすぐ5年がたとうとしているのに第一原発がある大熊町や双葉町ではまだ高い放射能で除染すら手つかずです。津波の被害のまま、壊れたビルがそのままになっていた、ここが田んぼの場所だったのかと思うほど荒地地になっていました。改めて憤りを感じました。やっと除染が終わった檜葉町などでは田の表土がはがされ一見きれいになってはいるものの、ここで今後田植えする農家があるのだろうかと思われました。避難解除されたばかりの檜葉町の宝鏡寺住職早川篤雄氏にお会いし、お話を聞いてきました。4年7か月間の避難生活と300年の歴史をもつ寺を守るための苦闘は壮絶であり、「自分たちで最後にしてほしい」という言葉が重く響きました。

福島第一原発の敷地内もバスで視察してきましたが、4年9か月間の現場の関係者の皆さんの懸命な努力が伝わってきました。しかし、30〜40年かかるという廃炉に向けての作業はまだ初歩の段階にあり、しかも毎日メルトダウンした原子炉へ300トンの地下水が流入し処理しても海には流せず現在汚染水が入ったタンクが1000個も建ち並んでいる姿には唖然とせざるを得ませんでした。ここでかかる膨大な費用が電気代として消費者に跳ね返っていること、国からの膨大な財政支援で成り立っていることを考えると過酷事故を二度と起こさせはならない、原発に頼らないエネルギー政策に転換することが重要だと痛感する調査となりました。



檜葉町にある福島第2原子力発電所をバックに

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。12月の相談対応5件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

12月のホームページアクセス数
24,993件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/